

# 京都御所造営目録

—造内裏御指図御用記

**【全五巻完結】**

第五回配本

第五卷 寛政二年七月五日～寛政四年十月三十日

◆全巻総索引付

本体価格一八、〇〇〇円

(全五巻セット本体価格一四〇、〇〇〇円)

B5判上製函入 口絵八頁 本文四三三頁

ISBN 978-4-8055-0656-1 C3052

好評発売中

第一卷 天明八年四月七日～同年十二月三十日  
B5判上製函入 口絵八頁 本文三三七八頁  
ISBN 978-4-8055-0613-4 C3052

第二卷 天明九年(寛政元年)正月四日～同年六月三十日  
B5判上製函入 口絵八頁 本文三三七八頁  
ISBN 978-4-8055-0653-0 C3052

第三卷 寛政元年閏六月一日～同年十二月三十日  
B5判上製函入 口絵八頁 本文四三三頁  
ISBN 978-4-8055-0654-7 C3052

第四卷 寛政二年正月一日～同年六月三十日  
B5判上製函入 口絵八頁 本文三九〇頁  
ISBN 978-4-8055-0655-4 C3052

詫間直樹(宮内庁書陵部)編

宮内庁書陵部に所蔵される「造内裏御指図御用記」全八冊は、江戸時代後期の寛政年間に再建された京都御所造営に関する重要な基本史料の一つである。記主は朝廷において禁裏執次で内裏造営の御指図御用掛を務めた明法博士大判事の勢多章純である。この近世の京都御所研究には不可欠の史料の全文翻刻を行い、寛政度京都御所の再建過程およびその実態を明らかにする。論説及び全巻索引を付した最終刊の完結である。

編著者

詫間直樹(たくま・なおき)

一九五九年香川県生まれ。広島大学大学院文学研究科博士前期課程修了。現在、宮内庁書陵部編修課勤務。主な著作として『皇居行幸年表』(続群書類從完成会、一九九七)、「裏松固禅の著作活動について—『大内裏御考証』の編修過程を中心として—」(『書陵部紀要』五五号、一〇〇四)など。

長坂良宏(ながさか・よしらか)

一九八〇年群馬県生まれ。学習院大学大学院人文科学研究科博士後期課程修了。現在、国立公文書館勤務。主な著作として「近世撰家相続の原則と朝幕関係」(『日本歴史』七二一号、一〇〇八)、「近世太政大臣の補任の契機とその意義」(『近世の天皇・朝廷研究』二号、一〇〇九)など。

関連書籍

裏松固禅「院宮及私第図」の研究

萩藩江戸屋敷作事記録

藤田勝也編

作事記録研究会編

本体価格六五、〇〇〇円

A3判横上製函入 口絵一五四頁 本文七〇頁 捕図四四点  
ISBN 978-4-8055-0539-7 C3052

B5判上製函入 口絵四四頁 本文五六八頁 附録図十枚  
ISBN 978-4-8055-0695-0 C3052

中央公論美術出版

〒104-0031 東京都中央区京橋2-8-7

TEL 03-3561-5993 FAX 03-3561-5834

※価格は税別

お取り扱いは